

特集

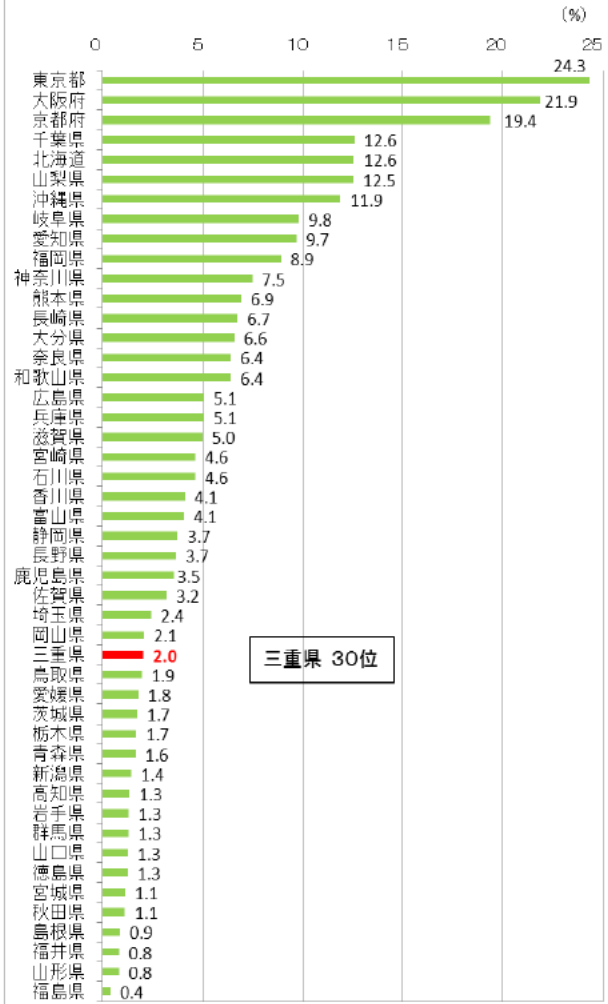
外国人宿泊者の状況と伊勢志摩サミット

● 都道府県別外国人延べ宿泊者数(H26年)



三重県 23位

● 都道府県別外国人宿泊者の割合(H26年)



三重県 30位

各都道府県別に平成26年の宿泊者数を多い順に並べた場合、三重県は日本人も含めた「延べ宿泊者数」が47都道府県中17位と上位にもかかわらず、「うち外国人延べ宿泊者数」は23位、「外国人宿泊者の割合」になると30位と大きく全国順位を下げています。

三重県及び三重県に隣接する各府県の「延べ宿泊者数」、「うち外国人延べ宿泊者数」、「外国人宿泊者の割合」の全国順位(47都道府県中)

(平成26年)

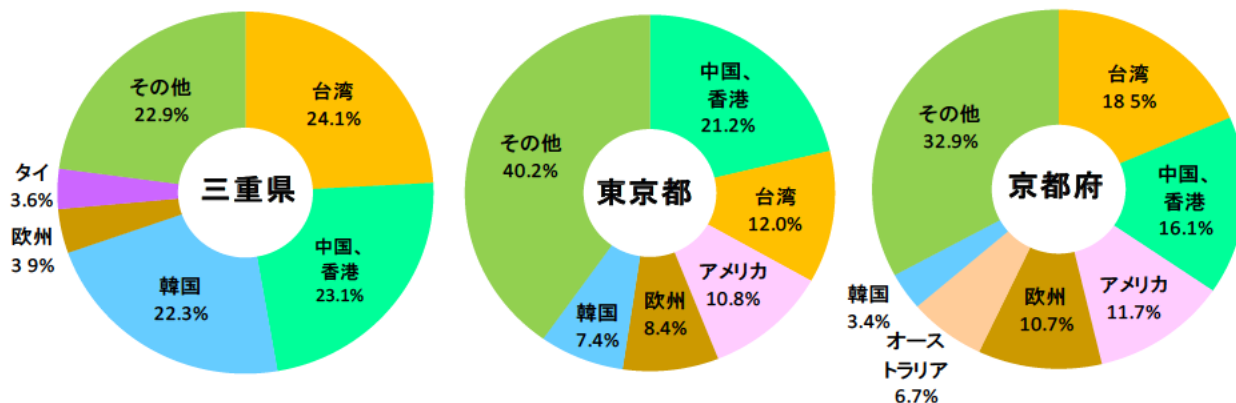
都道府県	延べ宿泊者数	うち外国人延べ宿泊者数	外国人宿泊者の割合
京都府	9位	4位	3位
愛知県	10位	7位	9位
三重県	17位	23位	30位
岐阜県	26位	14位	8位
滋賀県	31位	22位	19位
和歌山県	34位	20位	16位
奈良県	47位	26位	15位

三重県に隣接する他の府県で同様にを見た場合、愛知県を除くすべての府県が順位を上げています。また、愛知県の場合でも順位の上昇はわずかです。

三重県は、日本人に比べて外国人の宿泊者数が非常に少なく、外国人宿泊者の割合が小さくなっています。

● 外国人延べ宿泊者の国籍(出身地)別構成比(三重県、東京都、京都府の比較)

平成26年

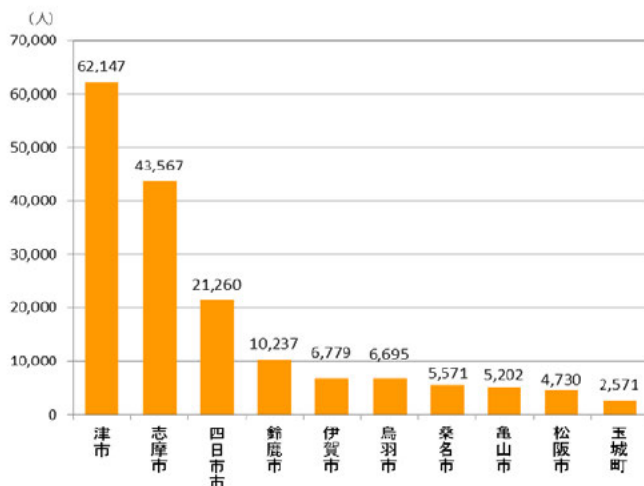


※従業員が9人以下の宿泊施設は含まない。
 ※欧州はイギリス、フランス、ドイツ、ロシアの合計。

台湾、中国といった近隣(国)の割合が多いことは3都府県とも同じですが、東京都と京都府では、アメリカの割合が10%を超え、欧州(イギリス、フランス、ドイツ等)の割合も約10%前後を占めています。

一方、三重県では、欧州が約4%、アメリカは3%に満たず「その他」に含まれており、外国人宿泊者全体に占める割合が小さくなっています。

● 県内市町別外国人延べ宿泊者数(平成26年)上位10位



サミット会場予定地の賢島(三重県志摩市)
 写真提供:一般財団法人 伊勢志摩国立公園協会

県庁所在地の津市や志摩市での宿泊者数が多くなっています。その一方で宿泊者数がほとんどない地域もあり、県内市町で宿泊者数に隔たりがあります。

今年は三重県で主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)が開催されます。サミット(G7)の参加国は、日本の他に欧州(イギリス、フランス、ドイツ、イタリア)が4か国を占め、他にアメリカ、カナダといった国々です。

欧州やアメリカ等、これまで三重県を訪問、宿泊することが少なかった国々の方にも、三重県のことを知っていただく絶好の機会です。

三重県では、サミットをきっかけに多くの国の方々が多岐県を訪問され、会場となる志摩市だけでなく、宿泊を兼ねて県内を周遊していただき、三重県の魅力やすばらしさ感じてもらえるよう「オール三重」で一丸となって、様々な取り組みを行っていきます。

【資料出所】

観光庁「宿泊旅行統計調査」